

提案者	活用技術
宮崎県・宮崎県串間市	AI・IoT、自動運転、ロボット

■ 背景・課題

目指す
将来像

- 県立農業大学校をスマート農業の実証・教育拠点と位置づけ、学生のみならず一般県民も対象とした無人作業機やIoTシステムの実践研修を展開するとともに、大手企業と連携した次世代作業機の開発・普及を加速させる

解決すべき
課題

- 宮崎県は、農業産出額が全国第5位の食料供給基地を形成しているものの、深刻化する人口減少の中で、新規就農者等の担い手の増加を上まわるペースで農業就業人口が著しく減少しており、生産力を維持するための生産性の向上が急務となっている
- スマート農機の運用を担える農業者や営農支援組織での人材育成が喫緊の課題となっている

■ 実装を目指す主な事業内容

○事業：スマート農業の体系的な学習体系(座学・実習)の構築及び整備

活用技術	事業概要
AI・IoT 自動運転 ロボット	<ul style="list-style-type: none"> 農業大学校の2年生への講座開設(農業機械/ドローン/園芸施設・畜産/経営管理システム) 農業者・農業指導者等を対象とした講習会の開催(自動走行トラクター(水稲・露地野菜)の操作体験、走行ラインの検証、ドローン等の操縦資格取得及び農薬散布等の操縦訓練等)



オート田植機



GPSトラクター

○事業：ドローンと無人作業機を組み合わせた栽培技術の実証・普及

活用技術	事業概要
AI・IoT 自動運転 ロボット	<ul style="list-style-type: none"> 耕起、田植え、水管理、収穫作業等のロボット化・IoT化 水稲、野菜等の生育ステージに合わせたドローンによる生育診断 串間市かんしょにおけるドローンを用いた地域防除体制の構築



ドローンを活用したスマート農業実習